



RYODEN

個人投資家様向け会社説明会

株式会社RYODEN

2024年9月1日

東証プライム

証券コード 8084

- 1. RYODENについて**
- 2. 業績推移**
- 3. 中期経営計画**
- 4. 株主還元と株価向上について**
- 5. 新事業（ワクワク）のご紹介**



1. RYODENについて



設立：**1947年**

事業所数：**国内27拠点、海外21拠点**

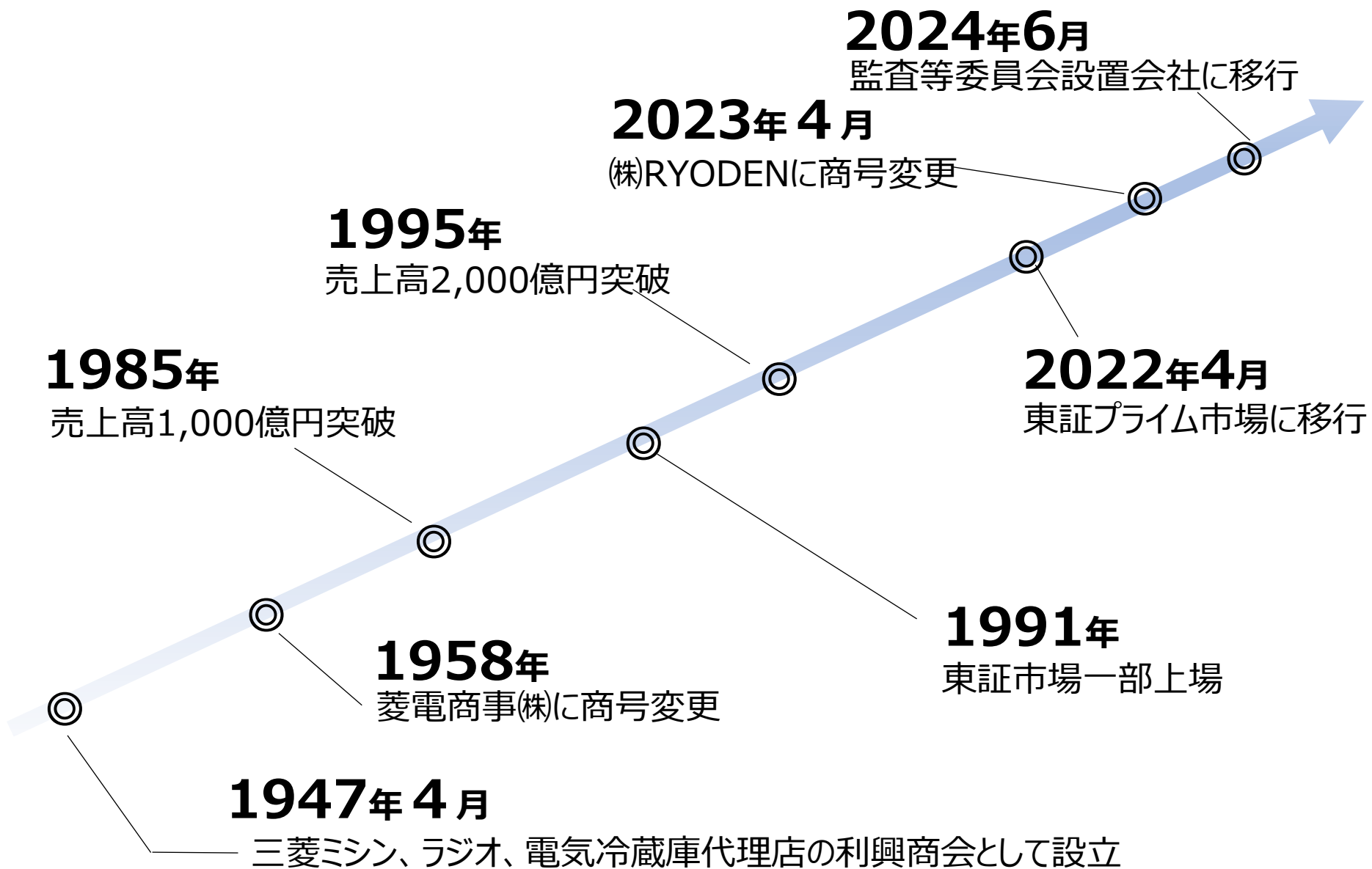
従業員数：**1,360名**

売上高：**2,590億円**

純利益：**57億円**

総資産：**1,560億円**

自己資本比率：**55.7%**



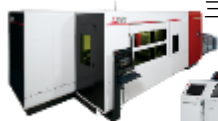
FAシステム



三菱電機(株)協働ロボット (MELFA ASSISTA)



三菱電機(株)シーケンサ



三菱電機(株)製レーザー加工機



クボタ空調(株)製
エリア空調機室内機

ORDER MADE ELEVATOR
NEXCUBE



三菱電機(株)展望用エレベーター

ファシリアDD



三菱電機(株)設備用パッケージエアコン

520億円
(20.1%)

309億円
(11.9%)

売上高
2,590
億円

1,700億円
(65.6%)

X-Tech (クロステック)



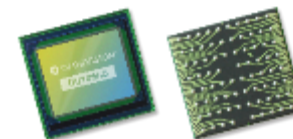
次世代型植物工場
Block FARM産 新
商品



医療情報システム
(イメージ)



ビデオカメラソリューション
(FlaRevo)



OMNIVISION製 CMOSセンサー



三菱電機(株)SiCパワーモジュール



CHIMEI製
カメラモジュール

冷熱ビルシステム

エレクトロニクス

FAシステム

売上高 520億39百万円
営業利益 25億99百万円

- 製造業のスマート化、高効率化を実現する付加価値の高いオリジナル・ソリューションを提供
- FA製品、ロボット、加工機など幅広いラインアップであらゆるニーズにお応えします

業界・市場

自動車メーカー、半導体製造装置・
工作機械メーカーなど



三菱電機(株)製レーザー加工機



三菱電機(株)協働ロボット
(MELFA ASSISTA)



三菱電機(株)シーケンサ

売上高 308億91百万円
営業利益 16億38百万円

冷熱ビルシステム

- オフィスや生産現場、物流工程などでお客さまが望む最適な空調環境・低温環境などを提案
- オフィスや集合住宅向けにエレベーターを提供。またZEB(ネット・ゼロ・エネルギービルディング)を推進し安全で快適な環境を実現します

ファシリアDD



三菱電機(株)設備用パッケージエアコン

Order Made Elevator
NEXCUBE



三菱電機(株)展望用エレベーター

業界・市場

建設市場、製造業など



クボタ空調(株)製 エリア空調機室内機

エレクトロニクス

売上高
営業利益

1,700億31百万円
49億14百万円

- 日々進化するエレクトロニクス産業の最先端でお客さまに最適な半導体・デバイス品を提供し、高度化するニーズに応えるソリューションも提供
- これまで培った技術で安心・安全な環境社会に貢献します

業界・市場

車載関連市場、産業機器メーカーなど



OMNIVISION製
CMOSセンサー



三菱電機(株)SiC パワーモジュール



CHIMEI製
カメラモジュール

売上高 61億6百万円
営業損失 317百万円

X-Tech

- 当社の技術・ナレッジを掛けあわせて新たな価値を提供する新事業セグメント（クロステック）
- ヘルスケア・スマートアグリ・ネットワークに事業領域を拡大



医療情報システム（イメージ）



ビデオカメラソリューション（FlaRevo）

業界・市場



次世代型植物工場 Block FARM産 新商品

ヘルスケア : 医療機関
スマートアグリ : 食品メーカーなど
ネットワーク : 食品・自動車などの製造業

幅広い事業領域

- FAシステム
- 冷熱システム
- ビルシステム
- エレクトロニクス
- ヘルスケア・スマートアグリ



グローバルイゼーション

- グローバルでの活動
- お客さま起点での活動

ICT技術力

- センシング技術
- 制御技術のデータ活用
- ソリューション、システム提案



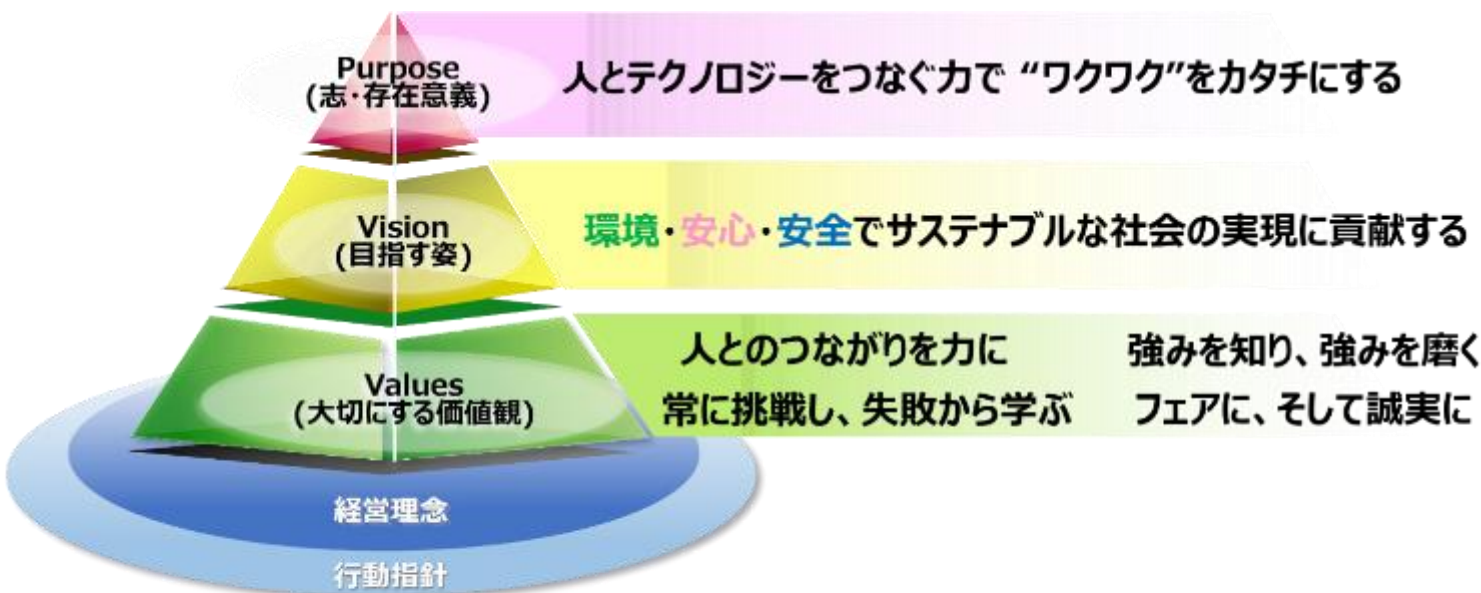
新たな価値を生み出す

事業創出会社

を目指します

人とテクノロジーをつなぐ力で“ワクワク”をカタチにする

当社は2022年12月、当社が進むべき道しるべとなるパーパスを制定しました





2. 業績推移

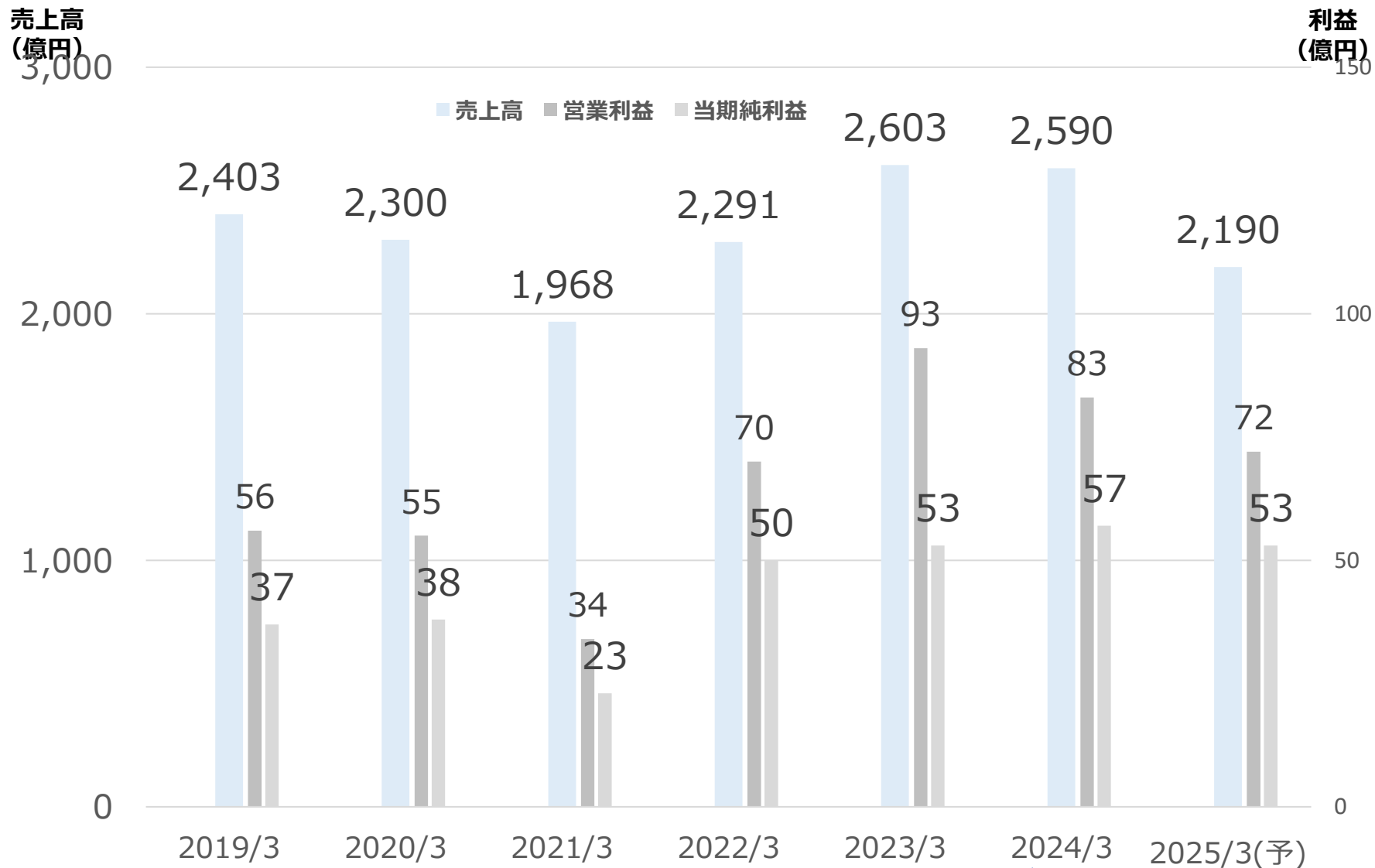
財務の状況



(百万円)	2023年3月期	2024年3月期	対前年 増減額	対前年 増減率
総資産	151,049	156,027	4,978	+3.3%
負債	71,150	68,944	△2,206	△3.1%
純資産	79,898	87,083	7,185	+9.0%
自己資本比率	52.8%	55.7%	—	+2.9pt.

(百万円)	2023年3月期	2024年3月期	対前年 増減額
営業活動CF	△199	9,942	10,141
投資活動CF	△1,251	△ 710	541
財務活動CF	△115	△ 2,283	△2,168
現金及び現金同等物	11,091	18,422	7,331

業績の推移



当期純利益最高益

2025年3月期 業績見通し | セグメント



売上高 (百万円)	2024年3月期 実績	2025年3月期 通期予想	対前年増減率
FAシステム	52,039	58,400	12.2%
冷熱ビルシステム	30,891	34,200	10.7%
X-Tech	6,106	9,600	57.2%
エレクトロニクス	170,031	116,800	△31.3%
全社合計 ※1	259,008	219,000	△15.4%

営業利益 (百万円)	2024年3月期 実績	2025年3月期 通期予想	対前年増減率・額
FAシステム	2,599	3,100	19.3%
冷熱ビルシステム	1,638	1,950	19.0%
X-Tech	△317	130	-
エレクトロニクス	4,914	3,100	△36.9%
全社合計 ※2	8,326	7,200	△13.5%

※1セグメント間の消去額含む

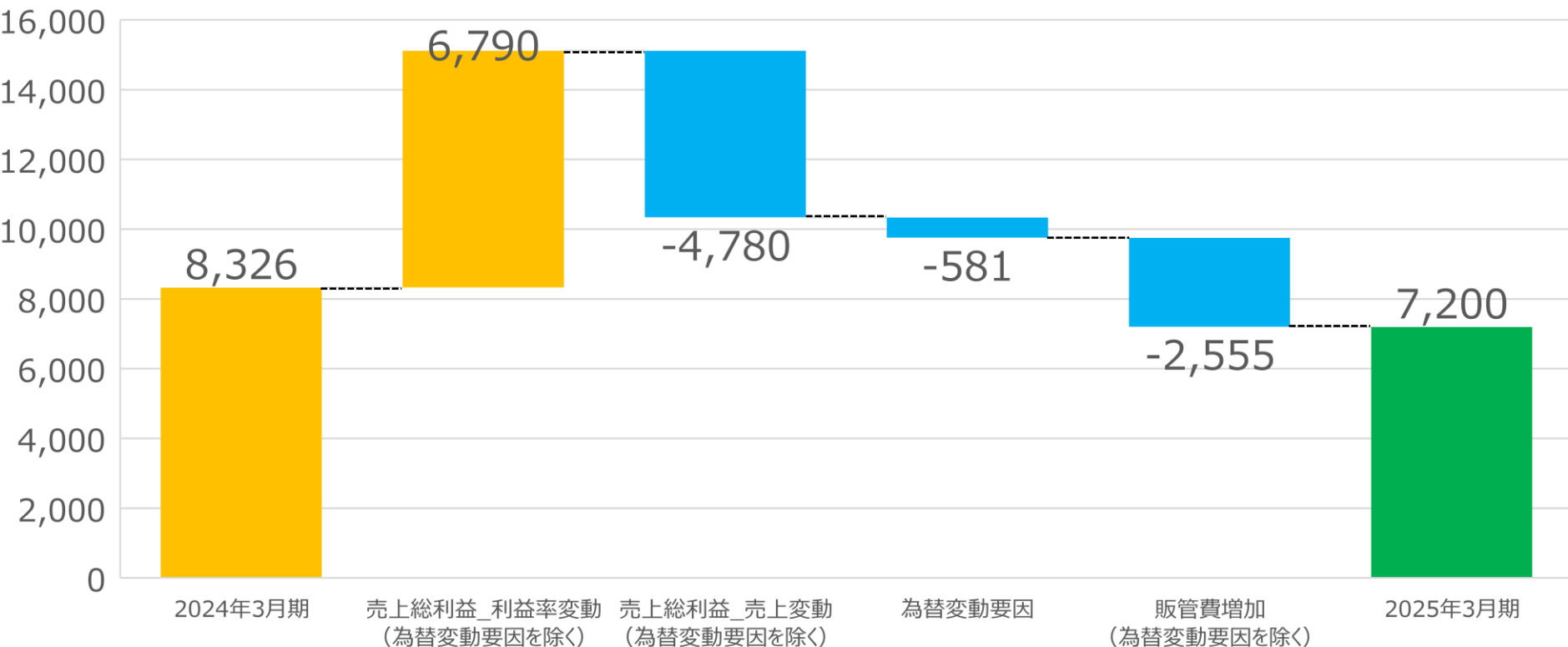
※2全社費用等含む

営業利益の増減益分析(2024年3月期-2025年3月期)



単位：(百万円)

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計



- 利益率の改善により売上総利益は増益を見込む (+20.1億円)
- 2025年3月期の為替前提は1ドル=140円とし、期末予想に為替変動の影響は含んでいません (23年度+5.8億円⇒24年度予想±ゼロ)。
- 持続可能性や収益力の向上を目的とした先行投資・費用投入により販管費が増加 (+25.6億円)。販管費増加の主な内訳は人的資本投資、開発投資、技術戦略関連費用、プロモーション関連などです。



3. 中期経営計画

2023年4月、菱電商事株式会社は
株式会社RYODENへ



※取締役社長 富澤による「社名変更にかける想い」を動画をご覧ください。

中期経営計画と今期の予想について

経営指標	2024年3月期実績	2025年3月期見通し	中期経営計画最終年度目標
営業利益	8,326百万円	7,200百万円	10,000百万円
営業利益率	3.2 %	3.3%	3.8%
新事業売上高	11,138百万円	21,000百万円	22,000百万円
新事業売上総利益率	14%	16%	18%
ROE	6.9%	6.2%	8.0%

<課題認識>

- スマートアグリ of 事業環境の激変に加え、エレクトロニクスにおける主要取扱製品の販売終了などの影響もあり、中計で掲げた経営目標値の達成はいましばらく時間がかかる見通し。
- このような環境変化をさらなる成長の機会と捉え、FAシステム・冷熱ビルシステム、スマートアグリなどそれぞれの事業において成長戦略の着実な推進を行います。

「商社」の枠を超え、「事業創出会社」を目指します

「規模」ではなく「利益」を追求します

「差別化」ではなく「異質化」を目指します

環境・安心・安全でサステナブルな社会の実現、そしてそれを支えるグリーン発展を持続する社会の実現に貢献する企業として、すべてのステークホルダーと価値を共有し、企業としての責任を果たしてまいります。

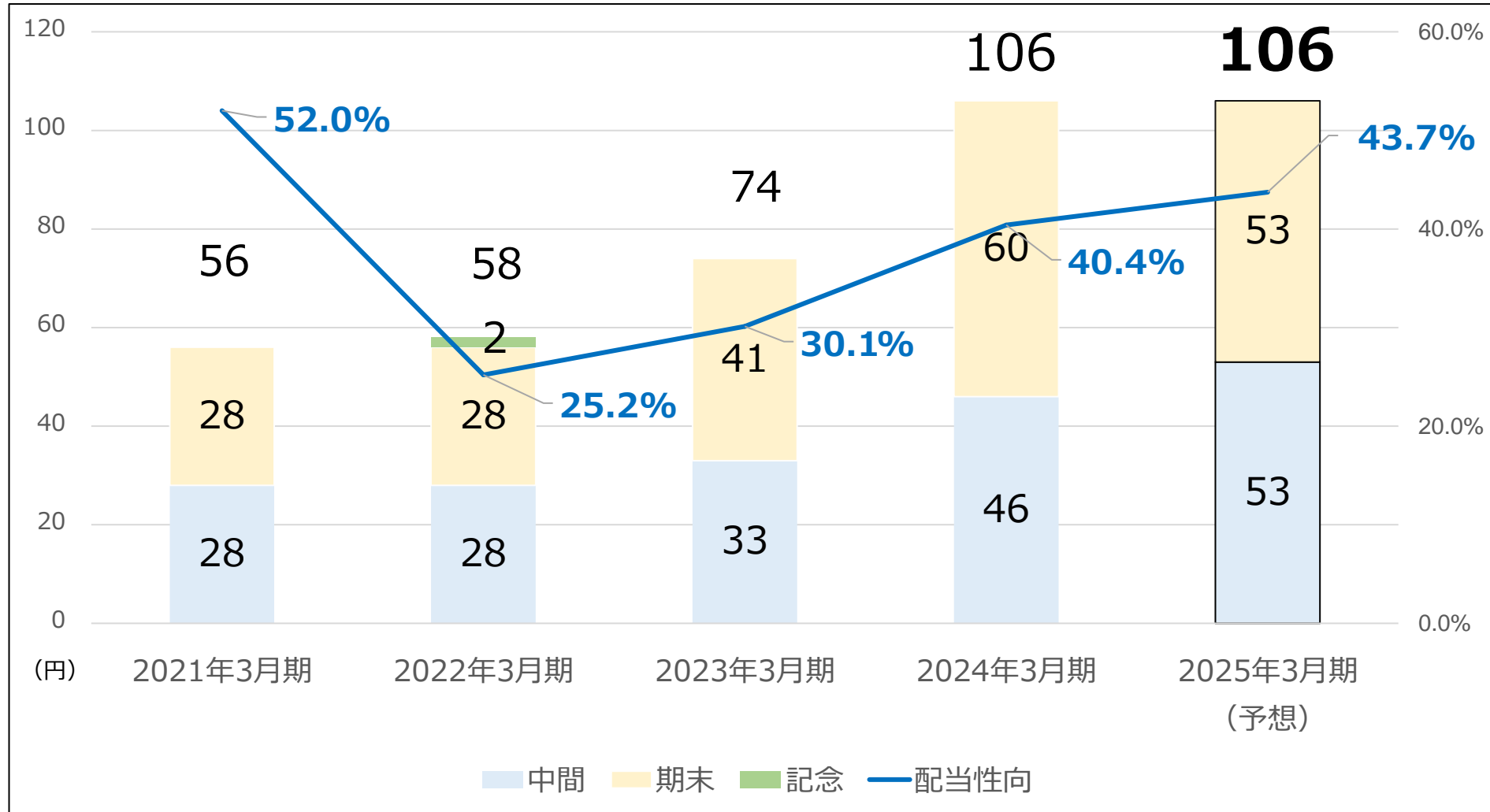


4. 株主還元と株価向上について



配当金・配当性向の推移

中長期的な安定配当は維持・継続しつつ、配当性向40%~60%を目安に還元



株主優待制度のご紹介



- ✓ 保有株式数及び継続保有年数に応じて**クオカード**を**年1回**贈呈
- ✓ 6月の定時株主総会招集通知に同封

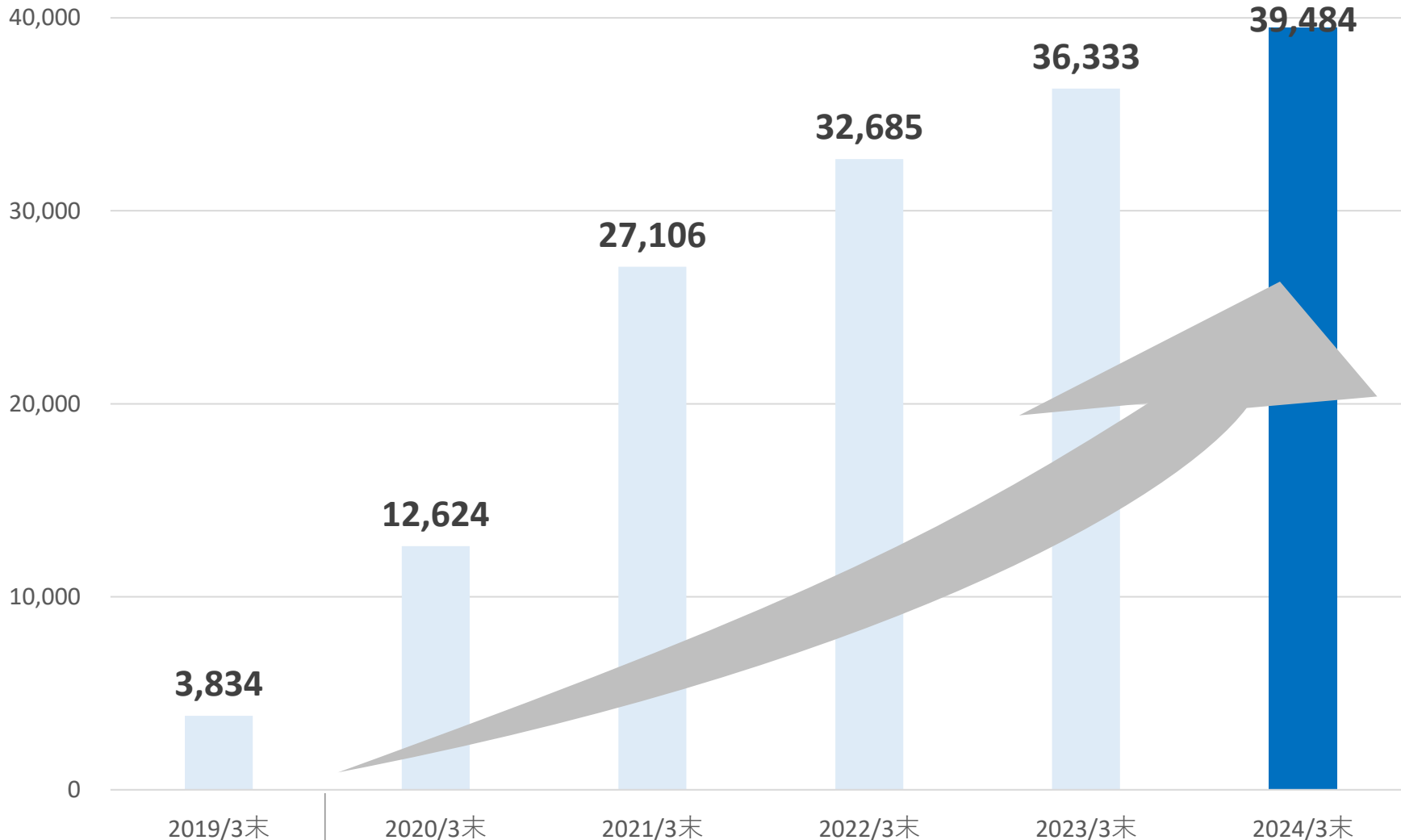
保有株式数	継続保有期間	
	3年未満	3年以上
100株以上 1,000株未満	2,000円分	3,000円分
1,000株以上	3,000円分	5,000円分

- ✓ 継続保有期間3年以上とは、毎年3月31日現在の株主名簿に記載又は記録され、かつ3月31日現在の株主名簿に同一の株主番号で連続して4回以上記載又は記録された場合とします。
- ✓ 継続保有期間の算出は、初回の基準日となる2020年3月31日より開始します。

個人株主様の推移



単位：人



株主優待導入を発表

1株当たり年間配当額 **106円** (2025年3月期予想)

株価 **2,551円** (8/15終値) 単元株 **100株**保有の場合

予想配当利回り \div **4.16%**

株主優待を考慮した場合の100株保有の実質利回り

①年間配当額 10,600円

②年間株主優待相当額 2,000円 (3年未満)

① + ②合計 12,600円 / 255,100円 **4.9%**
(配当利回り + 優待利回り)

予想配当利回りにつきましては税引前の金額を対象としています。

ご購入の際に必要な、証券会社売買手数料などは含んでおりません。

株式ご購入の際手数料などにつきましては、お取引の証券会社にお問い合わせください。

過去5年間の各種指標推移



	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
売上高（百万円）	230,087	196,841	229,126	260,303	259,008
営業利益（百万円）	5,559	3,415	7,062	9,380	8,326
経常利益（百万円）	5,758	3,653	7,285	9,077	8,236
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	3,860	2,343	5,004	5,366	5,736
営業利益率（%）	2.4	1.7	3.1	3.6	3.2
ROE（%）	5.8	3.4	6.9	7.0	6.9
PBR（倍）	0.42	0.51	0.50	0.51	0.68
一株当たり純資産額（円）	3,104.00	3,208.01	3,427.24	3,652.29	3,976.49
期末株価（円）	1,297	1,649	1,704	1,870	2,710

1.収益力の強化

2.株主還元の強化

3.IR活動の強化

PBR改善の施策

PBRの改善

ROEの改善

- ・資本コストを上回ることを意識した経営
- ・ROICを用いた収益性、成長性の向上



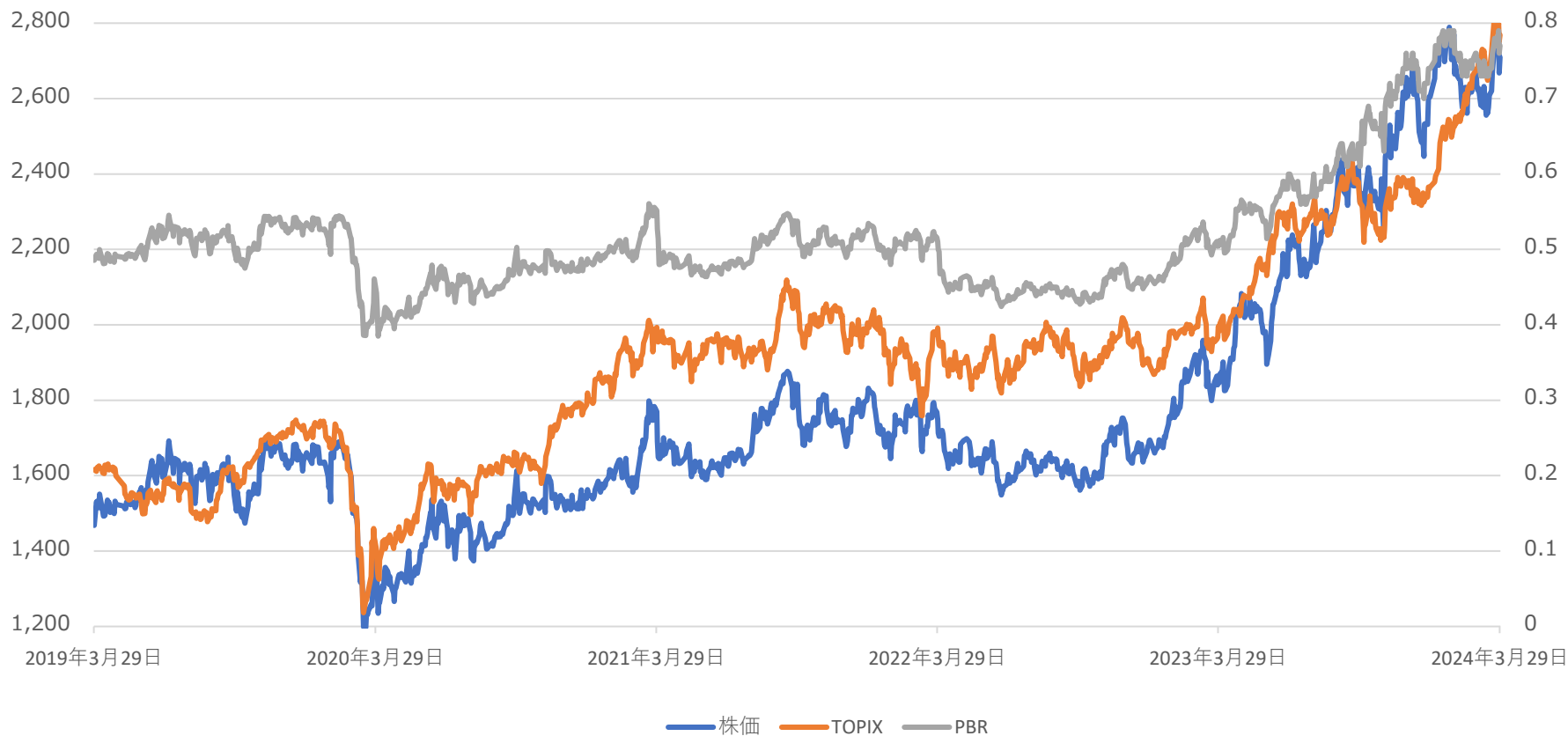
PERの改善

- ・サステナビリティに関する取り組みの推進
- ・IR活動の強化
- ・株主還元方針の明確化

企業価値向上のための施策②



【市場評価】株価・PBR推移（過去5年）



- ✓ 株価、PBRともに過去1年で上昇基調にある。
- ✓ 各種施策が奏功し市場での理解が進んでおり、引き続きPBR1倍超を目指す。

企業価値向上のための施策③



実施時期	目的	具体的施策
■ 2024年3月期の実績		
2023.7	PBR一倍超	資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応を開示
2023.8	情報の非対称性の解消など	IR専任部署を設置し情報開示を強化
2024.2	ガバナンスの強化	監査等委員会設置会社への移行を決議
2024.3	気候変動への取り組み強化	CDP「気候変動レポート2023」で「B」スコア取得
■ 2025年3月期の実績と予定		
2024.5	中長期視点での経営を後押しするインセンティブ導入	譲渡制限付株式報酬制度（RS）の導入を決議（株式報酬型ストックオプションは廃止）
2024.5	株主還元強化	3期連続増配を取締役会で決議
2024.6	多様性の確保とサステナビリティ経営の一層の強化	外国人取締役（再任）に加え女性取締役を複数選任。
2024.6	資本コストや株価を意識した経営の実現を推進・加速	役員報酬制度のKPIを変更
2024.9	経営方針及び事業の理解促進	統合報告作成、能動的なSR面談スタート

【2024年～2025年】事業ポートフォリオおよびキャッシュ・アロケーションなど含めた資本戦略を次期中期経営計画で開示予定



5. 新事業（ワクワク）のご紹介

ワクワクその1 次世代型植物工場 (Block FARM)



- 単一品種から多品種・変量生産へ
- 露地ものの野菜とは競合しない、野菜の高付加価値化を実現
- 植物工場ビジネスのトップランナーとして、これまで蓄積したナレッジを結集し、これまでにない価値を提供



**高付加価値の植物工場野菜を生産する
閉鎖型植物工場**

オープンプロトコルで収集したデータの可視化・分析・制御により**生産効率、エネルギー効率、環境最適化**を実現するための統合監視制御システム



見える

観える

診える



病院内のITシステムを



見える

一つのパッケージとして10年間ご提供

電子カルテ

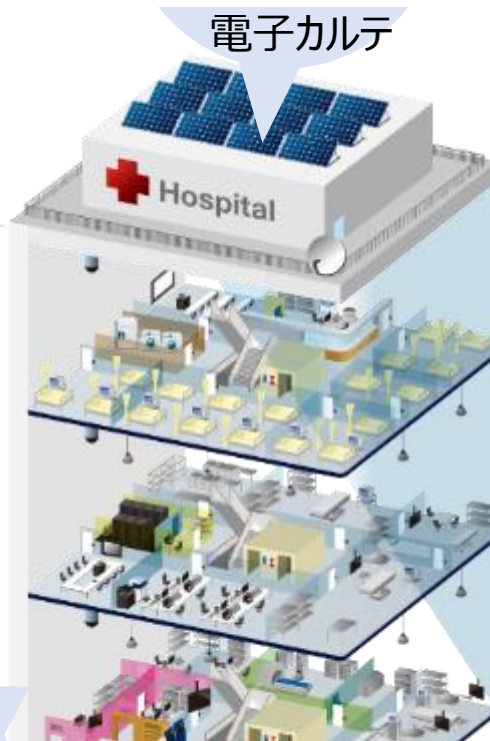
院内ネットワーク



案内表示医事会計



放射線画像各システム



院内スマホ

観える



クラウドによるデータ管理



診える

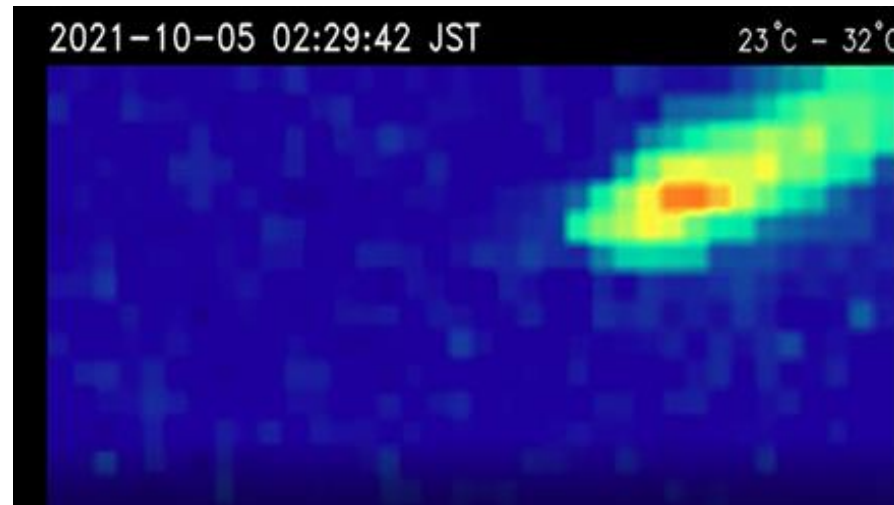
クラウドを活用し、病院のDXを支援し、
管理負担の削減に貢献



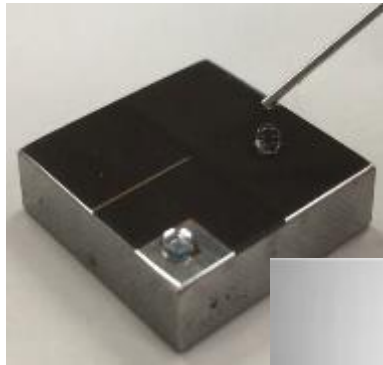
ペストコントロールに取り組む企業のDXを支援する
サブスクリプション型AIサービス

HACCP*に基づく害獣監視サービスで食品工場などのDXを支援、省力・省人化した衛生管理状況の構築に貢献。「不安」を「安心」に

害獣監視サービス

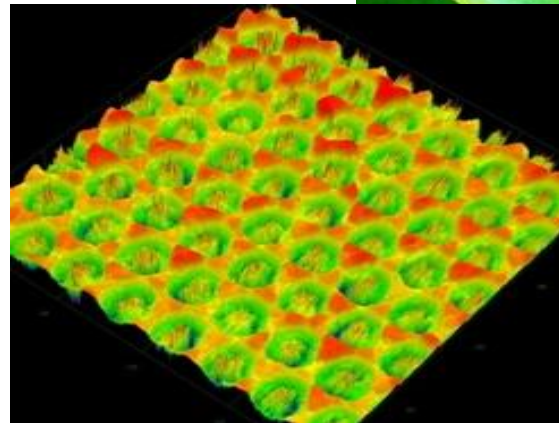
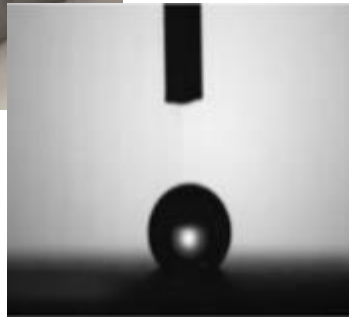


微細加工レーザー技術でこれまで化学で解決していたものを物理で解決



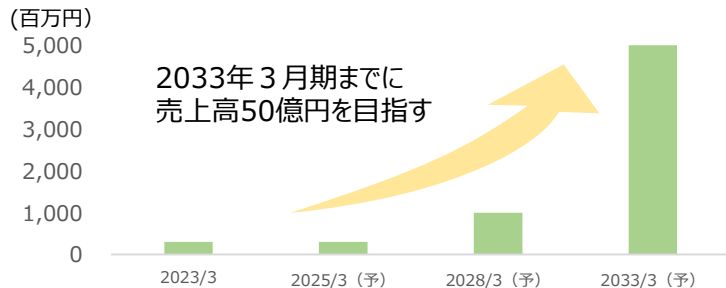
撥液

微細周期構造(凹凸形状)を生成することで水の接触角をコントロール。撥水機能をもつ表面を実現



※加工表面の立体画像

売上目標



ワクワクその6 (ブランディング強化戦略)



2024年2月に新たな事業ブランド「RYODEN Tii!」を策定しました。「RYODEN Tii!」は、基幹ビジネスで培った当社の強みである「現場力」から生まれた新事業の象徴として主要な6つのオリジナル製品群を総称する事業ブランドです。「RYODEN Tii!」における「Tii!」は、「This is it」の頭文字で、「その手が、あったか。」を意味し、当社の「お客様の潜在課題を解決する力」を表現したものです。ブランド価値の向上と事業領域の拡大で、事業創出会社への変革を加速させます。

■ 「RYODEN Tii!」製品ラインナップ (これから増やしていきます)

製品名	セグメント区分	内容
Remces (レムセス)	FAシステム	収集したデータの可視化・分析・制御により生産効率、エネルギー効率、環境最適化を実現する統合監視制御システム
R-AX (アールエー エックス)	X-Tech	データとデジタル技術を活用し、次世代農業・フードテック分野の商品や サービス、ビジネスモデルを変革する当社独自のシステムとサービス
トータルパックIT	X-Tech	医療機関の DX 化支援と管理負担削減を実現する、医療機関向け IT 機器・ システムの一括提案・長期保証 (10 年) サービス
Pescler (ペスクル)	エレクトロニクス	食品工場などで省力・省人化した衛生管理状況構築を実現する、ペスト コントロールを支援するクラウド型 AI 害獣・害虫監視サービス
FlaRevo (フラレボ)	X-Tech	ICT を活用した製造現場の見える化 (映像・データ) を実現する、ビデオ マネジメントシステム
ATLAS-Things (アトラス シングス)	X-Tech	製造業向けにパレットや通函、専用容器などを、RFID 等により個品管理することで「モノ」の入出荷記録が見える化するクラウドサービス

戦略技術センターの技術を集約し、提案力、イノベーション力を強化



戦略技術センターの事業創出力を加速する目的で2024年2月に「RYODEN-Lab.」を開設しました。全社の技術を統括し、新事業の創出、提案力を高めイノベーションを生み出す拠点として、運用を開始しています。RYODENが事業創出会社へと変革する象徴的な拠点として活動していきます。

RYODEN-Lab.

■ 技術開発テーマ

技術開発テーマ	提供ソリューション例	カテゴリー
協働ロボット活用技術 AIマシンビジョン画像認識技術 入在庫管理ソリューション	複合型ロボット FLOX-AI ATLAS-Things	自動化・省人化・可視化
害獣・害虫遠隔監視ソリューション 振動データ分析技術 ディープラーニング画像処理技術 製造業向けサイバーセキュリティ 次世代無線通信技術（sXGP）	Pescle 予兆保全 FlaRevo 遠隔保守サービス プライベートLTE	AI・DX・セキュリティ・通信
生産効率、エネルギー効率、環境最適化技術	Remces	環境・脱炭素・省エネ

ワクワクその8（先端技術への貢献①）



事業創出会社として革新的な価値を創造

信州大学とはっ水機能を施すレーザー加工機を共同開発

金属や樹脂の表面に生物を模倣した模様を加工し、はっ水性などの新たな機能を付与できる専用のレーザー加工機を信州大学繊維学部と共同開発しました。**生物模倣技術（バイオミメティクス）の専用加工機としては世界初**です。

親水／はっ水性、無反射、耐候性などといった表面修飾は現在化学コーティングが主流ですが、それらの原料は石油であり、カーボンニュートラルの観点から使用量の削減が求められています。

この新しいレーザー加工装置は車載カメラのレンズ・血管のつまりを防ぐステントと呼ばれる医療用具・電池の電極など社会ニーズの高い様々な分野での活用が期待されており、一部ではすでに事業化が進んでいます。



小型微細レーザー加工機

新潟人工知能研究所・事業創造大学院大学と生成AIの事業への応用に関する協業を開始

生成型人工知能（AI）技術の事業領域へ応用するための協業を(株)新潟人工知能研究所・事業創造大学院大学と開始しました（2024年5月～）。

生成AIを活用した技術開発において、RYODENが事業への適用を、新潟人工知能研究所がAI技術の研究を、事業創造大学院大学が事業応用開発と人材の育成をそれぞれ担当します。

この取り組みは、製造業など多岐にわたる業界でのケーススタディの展開、新しい顧客体験の創造、業務プロセスの効率化と自動化の推進など実用的な応用につながります。これらの技術応用を通じ、デジタルトランスフォーメーションの促進と持続可能な社会の実現に貢献していきます。



ワクワクその9（先端技術への貢献②）



3GeV高輝度放射光施設Nano Terasu

加速器とは、宇宙と物質の根源の探求、最先端医療、核融合炉の構造材の試験などに使われる大型装置です。

RYODENは当施設に商社機能だけでなく、技術サポートとメーカー製品の提供の両面で貢献しています。その結果、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構様より感謝状を頂いています。

自動運転評価拠点 Jtown

自動運転評価拠点であるJtownは、産官連携による自動運転の協調領域の課題解決と評価整備を目的に建設されました。

自動運転の高度な実用化に向けて、悪天候など様々な環境を作り出し評価を実施しています。

この施設を運用する様々な先端技術の組み合わせや提供に、RYODENが貢献しています。



商社の枠を超える付加価値として、製造業を中心とした企業の経営課題解決に貢献

「ウイズプロ」の概念図



当社は「プロ人材の紹介」という商社の枠を超えた新たな付加価値で、価値の創造を目指します。

私たちは創業以来、技術商社としての高い営業力を武器に製造業を中心とした5,000社を超える企業との取引実績を持ち、信頼関係を構築してきました。

現在こうした企業においては、プロ人材の不足が喫緊、且つ共通の課題として顕在化しています。

高度なスキルを有する人材の不足に悩む企業と、様々なフィールドで経験を積み活躍してきたプロ人材を繋ぎ、双方の支援を目的として開始したサービスです。

「ウイズプロ」の概要

名称	プロフェッショナル人材マッチングサービス「ウイズプロ」
対象	製造業をはじめとした全企業
対象領域	経営戦略構築、新規事業・商品開発、SDGs・ESG対応、DX化、マーケティング、営業組織強化、SCM構築・改善、生産性強化、物流構築・改善
プロ人材	約2,000人
当社の強み	75年以上培ってきた販売・事業開発ナレッジ/ノウハウ、商流、豊富な取引先企業、豊富な知見・経験にもとづく顧客ニーズとプロ人材ニーズの高精度マッチング、等

RYODENグループは

100年企業として

環境・安心・安全で

サステナブルな社会の実現に貢献します



RYODEN

〒170-8448 東京都豊島区東池袋3-15-15

総務部 IRグループ

e-mail:ryoden_ir@mgw.ryoden.co.jp

TEL:03-5396-6112

FAX:03-5396-6448

資料の取り扱い上のご注意

このプレゼンテーションで述べられている業績計画等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。その要因のうち、主なものは以下のとおりです。

- ・主要市場（日本、アジア等）の経済状況、消費動向及び製品需給の急激な変動
- ・ドル等の対円為替相場の大幅な変動
- ・資本市場における相場の大幅な変動等